

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270300700		
法人名	医療法人 謙昌会		
事業所名	グループホーム あんずの家		
所在地 (電話番号)	〒031-0802 青森県八戸市小中野五丁目2-5 おおまちマンション5階 (電話) 0178-22-1522		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月9日	評価確定日	平成21年11月24日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	5 階建ての 階 ~ 5 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(8月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名
要介護3	1 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢 平均	85.3 歳	最低	80 歳
		最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人謙昌会 総合リハビリ美保野病院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>市内中心部に近い5階建てマンションの5階部分のフロアにてサービスの提供がされている。居室には利用者が慣れ親しんだものが置かれ、利用者の個性や好みを尊重した個別の工夫や取組が行われている。又、町内会行事等に参加するなど地域交流にも力を入れている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>災害時のマニュアル、緊急連絡網を整備し、地域住民の協力も得て避難訓練を実施している。マンションの共同防火体制や住民による自衛消防組織を編成して災害に備えている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に定期的に取り組んでおり職員による気づき、意識付けのために積極的に行なっている。外部評価の結果については会議で報告するようにして改善点についても取り組みがなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を定期的開催している。会議に参加できない場合には、内容が分かるように議事録を配布することで情報共有が行なえるようにしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>金銭管理や職員の異動、入居者本人の状態が変化した場合には、早急に家族へ連絡をし対応している。又、オンブズマン制度を取り入れてサービス向上に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内の行事に参加したり、マンション住民と積極的に交流を図っている。また、地域の中学生の職業体験実習の受け入れを行うことにより、認知症高齢者、高齢者施設という存在の普及活動に努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気です「自由に、のんびりと、一緒に、楽しく」在宅生活の延長として地域や自然と取り込んだケアを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が集まる会議やカンファレンスの場で意識的に確認し、実践するように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内の行事に参加したり、マンション住民と積極的に交流を図っている。また、地域の中学生の職業体験実習の受け入れを行うことにより、認知症高齢者、高齢者施設という存在の普及活動に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価に定期的に取り組んでおり職員による気づき、意識付けのために積極的に行なっている。外部評価の結果については会議で報告するようにして、改善点についても取り組みがなされている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>外部評価の結果やホームの活動内容、入居者の状況報告、オンブズマンの訪問報告を行い意見の収集に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への参加を依頼し協力的な状況を作っている。会議に参加できない場合には、内容が分かるように議事録を配布することで情報共有が行なえるようにしている。また、運営推進会議以外でも、質問や相談をする機会がある。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修へ参加をし、内部での伝達研修を行い制度の理解に努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止関連法についての研修に参加し、内部伝達も行い周知に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書を丁寧に説明している。その都度疑問や不安に思っていることに対応し、理解してもらえるようにしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理や職員の異動、本人の状態変化の場合には早急に連絡を取り、対応している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見の他、オンブズマン制度を取り入れてサービス向上に努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動の場合には引継ぎの期間を設けることで入居者に影響が出ないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立てて、研修会に参加できるようにしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全国、八戸のグループホーム協会の会員となり研修会、交流会に参加し交流の機会が出来るようにしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にホームの見学をしていただき、ホームの雰囲気を感じてもらっている。又、家族の協力も得、入居間もない時は面会の回数を多くする等し、馴染めるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の後片付けや洗濯たたみ等、入居者と共に行っている。作業しながらの会話には本人の思いや思い出などが表れることがあり大切にしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族から聴取した生活歴や職歴をフェイスシートにまとめ、本人の入居後の行動や会話の中から本人の意向を記録に残し把握するように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>医師、看護師、グループホーム職員で定期的にカンファレンスが行なわれている。本人や家族の意向を取り入れながら、本人らしい生活が送れるように取り組んでいる。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>長期目標、短期目標の期間に応じて定期的な評価、見直しを行っている。又、状態や生活の様子に変化がある場合にはその都度話し合いが行なわれている。関係する他職種、家族とも連絡を取り新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>状況に応じて通院介助している。外出支援や地域行事への参加を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携が出来ている。家族との話し合いによっては通院介助も行い結果についても家族へ報告している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居する際に、重度化した場合の対応にかかる指針について説明を行い、同意をもらっている。体調に変化がある場合には、本人や家族の意向を確認しながら医師を含め方針を決めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライドを傷つけないように配慮した言葉かけを行なっている。記録は所定の場所に保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはおおよそ決まっているが希望や体調に合わせた対応を行い、柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいる。準備、片付けも一緒に行いながら、食事を食べるだけの行為で終わることがないように取り組んでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴を基本に、その時々体調や本人の気分に合わせた対応を行なっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備、片付け、買い物や地域の人たちとの関わり等、個人個人に合わせた役割、楽しい生活が送れるように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>マンションの5階という条件の中でも外出する機会がなくなるように、買い物やドライブに積極的に出かけるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する外部研修に職員が参加し、全職員への周知のため伝達研修を行ない、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	マンション内ということもあり、エレベーターや階段が玄関付近にあるため、全く鍵をかけないという対応は難しいが、外出の希望があればいつでも開けられる。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアル、緊急連絡網を整備し、地域住民の協力も得て避難訓練を実施している。マンションの共同防火体制や住民による自衛消防組織を編成して災害に備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録に摂取量を記入して把握に努めている。医師や栄養士と協力して定期的な検討が行なわれている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルに基づいて予防に努めている。外部の研修にも参加し、周知のため伝達研修も行なっている。又、インフルエンザの予防接種は家族、本人の同意を得て摂取している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光環境に気を配り、まぶしくないようにする工夫がなされている。花を飾る等して、生活しやすいのではないかとと思われる工夫を入居者の目線になって取り組んでいる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者本人が使用していたものを引続き使用できるように家族へ依頼すると共に、本人の好みを伺いながら環境を整えるようにしている。</p>		

 は、重点項目。